

基本構想案やこれまでの地域の有志メンバーのご意見をもとに整備計画案のたたき台を作成しました。皆様のアンケート内容も参考にして、今後、具体的な検討を進めていきます。

○配置イメージ（案） ※これはあくまでもイメージです。



福野中学校の保護者と生徒の皆様へ

福野地域まちづくりアンケート（お願い）

福野地域では、庁舎統合に伴う賑わい創出に向けて「まちづくり検討会議」が提言した内容の実現を目指し、「旧富山紡績工場跡地利活用ORACCHAプロジェクト基本構想」を策定しました。

この基本構想では、「心の健康×体の健康」をテーマに、民間主導で、旧富山紡績工場跡地を皆さんが楽しく集えるエリアへと開発することを目指しています。

本年度において、地域の有志メンバーで構成するワークショップで「心と体の健康」を軸に、福野地域の目指すべき方向性を4つのキーワードにまとめました。（詳細は裏面をご覧ください。）

福野地域の目指すべき方向性

- 【関】だれもが楽しくつながれるまち
- 【動】日常的に音楽に触れられ体を動かせるまち
- 【暮】安心安全に住まえるまち
- 【食】美味しく健康な食コンテンツのあるまち

本アンケートは、今後、開発エリアに求められるサービス（機能）を把握するため、皆さんからの意見を参考とすることを目的に実施するものです。

広報なんと9月号の配布に併せて福野地域の全世帯に配布しておりますが、子育て世代や中学生からの意見を伺いたく、福野中学校及び福野中学校育友会のご理解とご協力により、改めて、生徒の皆様方を通じて配布させていただきました。

つきましては、保護者の皆様、及び、生徒の皆様にご回答いただきますようお願いいたします。

●今回のアンケートは、中学生以上の方を対象とし、一人1回のご回答をお願いします。

●回答期限は9月16日(金)まで。

右記のQRコードからのご回答をお願いします。



回答用QRコードは
こちら

●回答いただいた調査内容は、統計的に処理した上で活用し目的外には利用しません。

●調査受託者 福野地域ORACCHA構想特定業務共同企業体
(問い合わせ先：南砺市政策推進課 ☎0763-23-2052)

○複合施設①～③のテナント（例）

※現段階で想定しているもの

- ・ 飲食店舗
カフェ
- ・ 商業施設
売店
コインランドリー
- ・ 公共的なサービス
市民センター
銀行窓口
会議室
交流センター

※今後検討する可能性があるもの

- ・ 飲食店舗
家族で外食できるレストラン、惣菜販売
お弁当サービス（宅配/受取）
- ・ 商業施設
アウトドアショップ、サイクルショップ
産地直売所、シェアキッチン、音楽スタジオ
カラオケ、ジム、バーチャルゴルフ
温浴/サウナ施設、子供の遊び場
- ・ 公共的なサービス
医療機関
- ・ その他

おらっちゃんの福野を こんなまちにしたい！

かわら版

本年4月から7月にかけて、「自分たちが地域を変えたい！」という地域の有志メンバーにより意見交換を行いました。その中で出てきた福野のまちに対する想いを「福野が目指すべき方向性」として4つのキーワードにまとめました。



○これまでの経緯

- 平成26年**
南砺市が旧富山紡績工場跡地を取得
- 平成27年**
南砺市で「福野地区工場用地活用基本構想基本計画」を策定し、第一期開発区域（西側エリア）を福祉・教育ゾーンとして活用
- 平成29年**
庁舎統合の議論をきっかけに地域住民主体の検討組織（まちづくり検討会議）が設立
- 平成30年**
まちづくり検討会議から福野地域の将来を見据えたまちづくりの方向性と必要な施策について市長に提言
- 令和2年**
リノベーションスクール@南砺において旧富山紡績工場跡地（東側エリア）の利活用方法を検討
- 令和3年**
前年度の利活用方法を「旧富山紡績工場跡地利活用ORACCHAプロジェクト基本構想」に取りまとめ、地域の合意を得たうえで市に提案
- 令和4年**
基本構想に対する具現化に向けた業務を実施

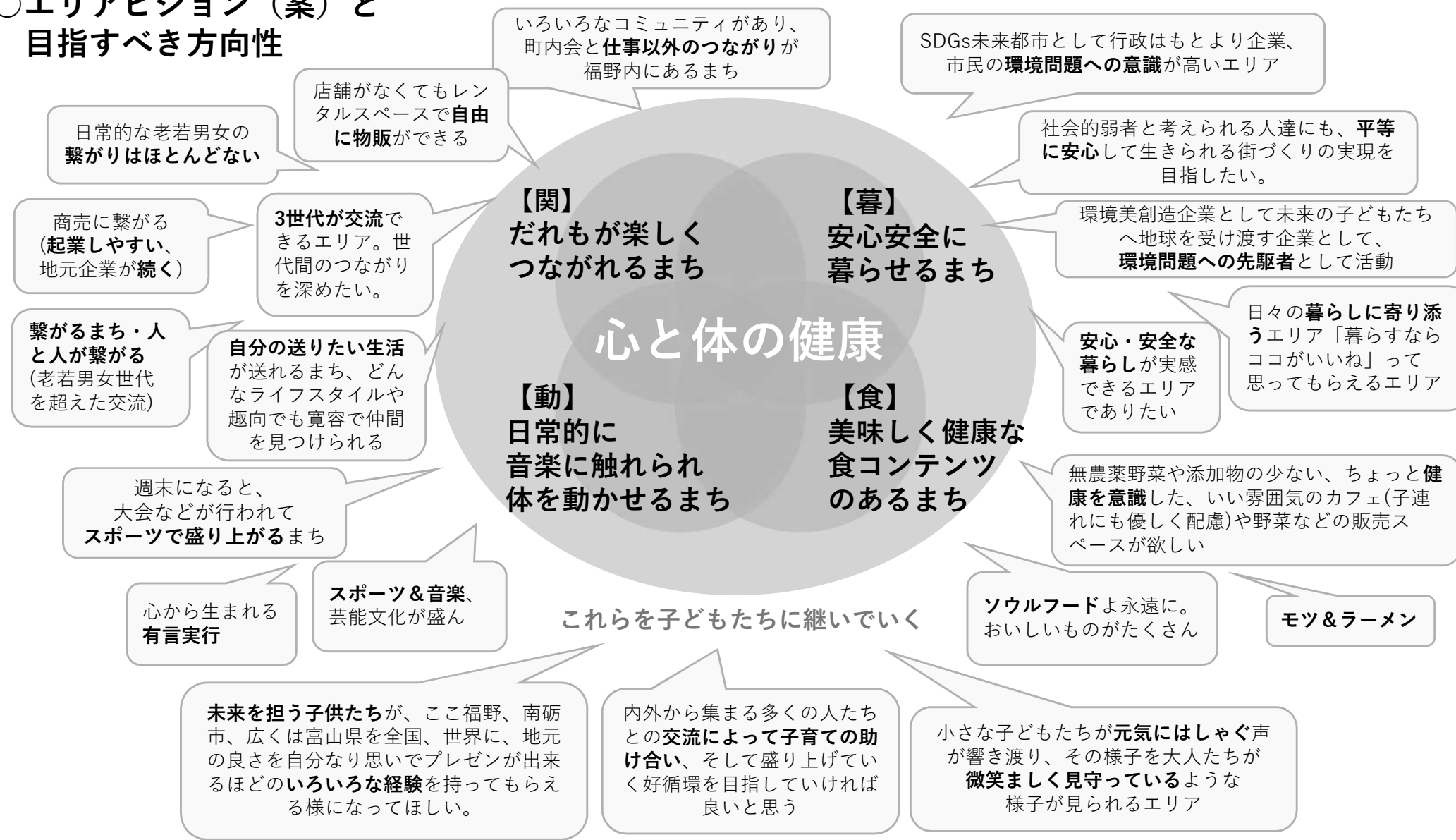
◇地域有志によるワークショップ（7回）

基本構想から福野エリアに関するキーワードやエリアビジョンを実現するためにできることを聞き取りながら、右のとおりまとめました。

◇実践者による講演会（2回）

公民連携事業の実践者を講師に招き、エリア価値の向上させることの必要性、これに伴う不動産開発の意義について講演いただきました。

○エリアビジョン（案）と 目指すべき方向性



○今後の予定

第3回実践者による講演会

日時：9月27日(火)19時から
場所：福野体育館 会議室
参加費：無料

どなたでもご参加いただけます！

講師

岡崎 正信氏

株式会社オガール 代表取締役ほか



○旧富山紡績工場跡地利活用ORACCHAプロジェクト基本構想とは…

旧富山紡績工場跡地（東側エリア）の中心に広場を配置し、その周辺には、健康的な食材の提供、地域内交流と情報発信の場、健康を考える文化の醸成、高断熱で安心な住まいの提供、心の健康を支える行政窓口の設置など、人々の幸せに繋がる「心の健康×体の健康」広場を実現するため、民間主導型PPP（公民連携）による現代版「町立て」を目指す基本構想です。

- 8月～11月：有志メンバーのエリアビジョン（案）を踏まえ、実現可能な事業計画となるよう具体的に検討
- 12月～翌1月：今後、事業に関心がある皆さんと広場の活用方法等に関する意見交換を実施し、事業計画に反映